

JOURNAL OF SPORT AND HEALTH SCIENCE

No. 12 March, 2015

CONTENTS

Articles

Health problems and environmental hygiene of elementary school in Savannakhet Province, Lao PDR
..... KANEDA Eiko, Tiengkham PONGVONGSA (1 ~ 9)

The characteristic of psychological and physical fatigue in university middle-distance runners during a camp SHIODA Toru (11~22)

Walking distances of Edo period Tohoku region commoners on Ise Shrine visitations —An analysis of travel diaries (1691-1866)— TANIGAMA Hironori (23~48)

Resarch report

The evaluation of kinematics of the kicking-foot during instep kicking with raising physical load SUNAMI Shunsuke (49~52)

Published by
TOYO UNIVERSITY
28-20, Hakusan 5-chome, Bunkyo-ku,
Tokyo, Japan



スポーツ健康科学紀要

第十二号

東洋大学

スポーツ健康科学紀要

第12号

目次

論文

ラオス・サバナケット県内における小学校の環境衛生と健康課題
..... 金田 英子・ティエンカム ポングホングサ (1 ~ 9)

陸上競技選手における強化合宿中の体調管理指標の特徴 塩田 徹 (11~22)

近世における東北地方の庶民による伊勢参宮の旅の歩行距離 —旅日記 (1691~1866年) の分析を通して— 谷釜 尋徳 (23~48)

研究ノート

身体負荷の亢進がキック動作中の足部動態に与える影響 角南 俊介 (49~52)

東洋大学
2015年3月



ス ポ ー ツ 健 康 科 学 紀 要

第 12 号

東 洋 大 学

東洋大学スポーツ健康科学紀要編集委員会規程

(目的)

第1条 この規程は、東洋大学スポーツ健康科学委員会が発行する「東洋大学スポーツ健康科学紀要」(以下「紀要」という)の編集及び発行について必要な事項を定めることを目的とする。

(編集委員会)

第2条 「紀要」の編集、発行、その他「紀要」に関する事項を処理するため「東洋大学スポーツ健康科学紀要編集委員会」(以下「委員会」という)を設置する。

(委員)

第3条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) スポーツ健康科学白山キャンパス研究室室員
- (2) スポーツ健康科学川越キャンパス研究室室員

2. 委員の任期は2年とし、再任を妨げない。

(委員長および副委員長)

第4条 委員会に委員長1名及び副委員長1名を置く。

2. 委員長および副委員長の選出は、委員の互選による。

3. 委員長は、委員会の会務を総括する。

4. 委員長は、必要に応じ委員会を招集し、その議長となる。

5. 委員長に事故あるときは、副委員長が代行する。

(審議決定事項)

第5条 委員会は、次の事項を審議、決定する。

- (1) 「紀要」の編集に関する事項
- (2) 「紀要」の発行に関する事項
- (3) その他、委員会が必要と認めた事項

2. 前項以外の投稿・執筆に関する事項は、別に定める。

(会議)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上の出席がなければ会議を開くことができない。

2. 会議の議事は、出席委員の過半数で決定する。ただし、議長は裁決に加わらないものとする。

3. 前項で可否同数の場合は、議長の決するところによる。

(改正)

第7条 この規程の改正は、東洋大学スポーツ健康科学委員会の議を経て、スポーツ健康科学委員会委員長が行う。

附 則

この規程は、平成20年11月15日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

東洋大学スポーツ健康科学紀要投稿規程

(目的)

第1条 「東洋大学スポーツ健康科学紀要」に投稿するものは、この規程の定めるところによる。

(投稿資格)

第2条 執筆者は、原則として東洋大学スポーツ健康科学白山キャンパス研究室及び川越キャンパス研究室内の室員ならびに法学部及び理工学部 に所属し、スポーツ健康科学の授業を担当する非常勤講師とする。

(申込及び締め切り)

第3条 執筆申込及び原稿提出期限は、年1回発行の場合、次の各号の通りとし、年2回発行の場合は、その都度別に定める。

- (1) 執筆申込は、別に定める「スポーツ健康科学紀要執筆申込書」を7月15日までに提出する。
- (2) 原稿の提出は、11月30日までとする。
- (3) 上記(1)、(2)の提出先は、委員長および副委員長とする。

(原稿の種類)

第4条 この「紀要」に投稿できる原稿の種類は、論文・総説・資料・研究ノート、研究活動報告、彙報などとする。

(タイトル)

第5条 投稿する原稿は、和文または欧文とし、和文原稿には欧文タイトル、欧文原稿には和文タイトルを付す。

(摘要)

第6条 投稿する原稿には、摘要(タイトル・執筆者氏名とも)をつけることとする。

- (1) 和文原稿の場合は外国文による摘要、外国原稿の場合は和文による摘要とする。
- (2) 分量は、紀要1ページ以内とする。
- (3) 掲載場所は、各原稿の最初とする。
- (4) ただし、摘要の掲載は原則であり、必ずしも原稿掲載の条件としない。

(抜刷)

第7条 抜刷は、論文1篇につき50部とする。ただし、それ以上を希望する者は、原稿提出時50部を単位として別に申し込むものとする。

(改正)

第8条 この規程の改正は、東洋大学スポーツ健康科学委員会の議を経て、スポーツ健康科学委員会委員長が行う。

附 則

この規程は、平成20年11月15日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年4月1日から施行する。

「スポーツ健康科学（白山キャンパス）研究室」スタッフ一覧

専任教員

【経済学部】

塩田 徹，角南俊介

【経営学部】

西村 忍，安則貴香

【法学部】

金田英子，平井伯昌，土江寛裕，谷釜尋徳

非常勤講師

今野 亮，佐久間 康，須田和也，田代浩二，番場裕之

「スポーツ健康科学（川越キャンパス）研究室」スタッフ一覧

専任教員

【理工学部】

一川大輔，山崎享子

非常勤講師

小川貴志子，奥田功夫，重藤誠市郎，高畑 隆，田口直樹，長澤純一，藤城仁音，安田智洋

◆執筆者（筆頭著者）一覧◆

1. 金田 英子（カネダ・エイコ／法学部 法律学科）
2. 塩田 徹（シオダ・トオル／経済学部 総合政策学科）
3. 谷釜 尋徳（タニガマ・ヒロノリ／法学部 法律学科）
4. 角南 俊介（スナミ・シュンスケ／経済学部 経済学科）

◆編集後記◆

『スポーツ健康科学紀要』第12号をお届けします。今回は4編の論稿が掲載の運びとなりました。投稿者の先生方をはじめ、本誌の編集作業にご協力をいただいた皆様に、この場をかりて厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

さて、2020年のオリンピック・パラリンピック東京大会を5年後にひかえ、国内では連日のように関連のニュースが飛び交っています。本年2月には、スポーツ行政を一元的に所管する「スポーツ庁」の設置法案が閣議決定されました。国会で法案が成立すれば、この10月にも文部科学省の外局として新たな組織が発足する予定です。

五輪の成功を見据えた陣容整備が加速していく世情にあって、東洋大学は昨年6月に大会組織委員会と連携協定を締結しました。これを受けて、学内では五輪の機運を高めるべく数々の企画案が提示され、そのいくつかは既に実現に向けてスタートを切っています。

五輪との直接的な関わりの有無はともかくとして、『スポーツ健康科学紀要』にも新たな展開が生まれています。次年度4月1日より新投稿規程が施行される所となり、現行の白山・川越に加えて、板倉・朝霞（スポーツ健康分野担当の非常勤のみ）の先生方も本誌への投稿が可能になりました。

今回の規程改正を機縁として、4キャンパス間での交流がさらに活発化し、本誌が従来を凌ぐ充実した学術誌となることを切に願うばかりです。

（谷釜 記）

2014年度「スポーツ健康科学紀要」編集委員

- 委員長 谷釜 尋徳（法学部）
委員 塩田 徹（経済学部）
委員 金田 英子（法学部）
委員 西村 忍（経営学部）
委員 一川 大輔（理工学部）

スポーツ健康科学紀要 第 12 号

2015 年 3 月 12 日 印刷

2015 年 3 月 13 日 発行

編集兼
発行人 東洋大学スポーツ健康科学委員会
東京都文京区白山 5 丁目 28 番 20 号

制 作 薦友印刷株式会社
東京都文京区白山 1 丁目 13 番 8 号
電話 03(3811)5343
